

千年の森便り No.201

2020.4.23

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

代表 坂本文雄 編集 真鍋昌義

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

4月19日(日) 晴

新型コロナウイルス対策のため定例活動は中止となりましたが、坂本、秋元、伊藤の3人がそれぞれの活動をしました。

前夜来の激しい雨もあがり、初夏を思わせる青空のもと野外活動には絶好の一日でした。坂本さんは島外農地の手入れを行い、秋元さんは植物調査を、私は気の赴くままに森の様子を見て回りました。(伊藤)

〇島は最高のわかば色

4月は何といても新緑の美しさです。島の入口の吊橋に立つと、目の前に淡い黄緑から濃い緑までグラデーションされた木々が実に印象的です。右手奥の対岸の崖には一筋の滝が流れ落ちています。最近では雨が多いのか、ここ数回の活動日に水の枯れたところを見たことがありません。橋を渡りきると右手にコバノガマズミの白い花がありました。



新緑



幻の滝

ここを出発点に反時計回りに水辺を進んでいくとフデリンドウ、タチツボスミレが点々と咲いていました。また、前日の雨のせいででしょうか崖から染み出た水が小さなせせらぎを作っていました。このせせらぎは数日で消えてしまいます。



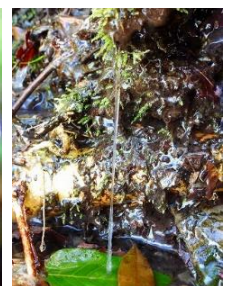
コバノガマズミ



フデリンドウ



タチツボスミレ



せせらぎ

禁断の岬付近の崖下にはヤマザクラと白い花穂のウワミズザクラが咲き枝を湖面に張り出していました。湖面と反対側の崖にはヒカゲツツジがありますが、やっと新芽が出たところで葉はまだ広がってはいませんでし



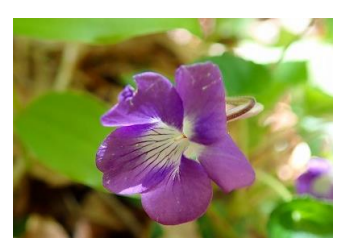
ヤマザクラ



ウワミズザクラ



ヤマブキ



ニオイタチツボスミレ

た。次回の活動日を楽しみしています。禁断の岬からギャップ伐採更新林に向かう途中には、オオバノトンボソウやコクランらしき植物がみられました。ギャップ伐採更新林保護柵の内には黄色のヤマブキ、白色のコバノガマズミが目立っていました。

灌木の下にはチゴユリ、ニオイタチツボスミレ、タチツボスミレ、アカフタチツボスミレ、ミツバツチグ
リ、キランソウが色鮮やかに咲いていました。(秋元)



チゴユリ



アカフタツボスミレ



ミツバツチグ



キランソウ

〇トビ抱卵中

2月の活動日にトビの巣が修復されたような痕跡を見ていましたので、息をひそめて巣の観察に向かったと

ころ期待通りトビが一羽巣にいました。しめたと思い写真に撮りましたが1枚撮ったところでトビは姿を消しました。トビの飛び去った巣には3個の白い卵がありました。抱卵中だったのです。邪魔をしてしまったようなのですぐにその場所を離れ、千年広場で軽い



抱卵中のトビ



トビの卵3個

昼食を済ませて駐車スペースのある農地まで引き上げました。朝植えたアシタバとメダラ、2月に播種したアシタバの発芽をカメラに収め本日の活動は終了としました。(秋元)



アシタバの発芽

〇針葉樹は

島内を歩くとモミ、ツガ、アカマツ、スギ、ヒノキ、ネズなど針葉樹の実生が目立ちました。元々かなりの数はありましたが、台風やニホンジカの食害の影響で林床が明るくなり目立つようになっただけなのか、生存本数自体が増えているのか気になるところです。

ヒメコマツ保護区では、実生のアカマツがヒメコマツに負けられない成長を見せており、近い将来ヒメコマツの成長に影響を与えそうです。

(伊藤)



ヒメコマツとアカマツの競合

○農地の手入れ

・**排水溝作り** 前日の大雨で農地は水浸し、土を盛り上げた高畝だけが水面から出ていてあたかも大水害で人家の屋根だけが水没を免れ、その上に救助を求める人がいる様子を連想させるものでした。もともと水田ですから、水が溜まるのは当然事で、高畝で対処しようとしても無理と判断し、排水溝を掘る事にしました。水が溜まっているので、どの深さまで掘れば排水出来るか一目瞭然で、その点は楽でしたが、人力で50m近い溝を掘るのはしんどい作業でした。（坂本）



池のような畑

・**ジャガイモは微妙** 先月、種芋を植えたものが芽を出していました。元気に葉を広げている株もあれば生育不良の株もあるので、生育不良の株をよく見ると、食害の跡がありました。シカはジャガイモの葉は好物ではなさそうですが、空腹なら仕方なく食べるかもしれません。要観察です。



食害のないジャガイモ



食害受けたジャガイモ



山椒の若葉

・**山椒は根付く** 島内から移植の山椒の若木は根付いて新芽を付けていました。刺激の強い味と鋭い棘で食害から身を守っているものと思います。以前に島内の伐採作業で踏みつぶされそうなシキミを助ける為、中田家の子供達が千年広場の脇に移植した事がありました。その木も食害に遭わず育っているので、シキミを生垣にして農地を守れないかと考えています。